**はじめての学年会計**

**～1学期末の中間報告～【仮】**

**埼玉支部：秩父市立南小学校**

**事務主幹　飯野　直彦**

**【背景と目標】**

本校は埼玉県の山間部にある秩父市の単学級の小学校です。各学年1学級・6学年6学級の他に特別支援学級が2クラスの合計8クラス編成です。

令和5年4月に19年ぶりに小学校へ校種を変える異動をしました。昨年度末の職員会議で本年度より学年会計を各学年の担当者から事務室へ移管すると言うことが決定されたと伝えられました。

私は学校事務職員に採用以来30年目にしてはじめて学年会計【学校徴収金】を取り扱うこととなりました。

．実践前

各学年の担任が、児童から手集金し、ゆうちょ銀行口座に入金しました。担任が、ゆうちょ銀行から引き出して、業者への支払いを行い会計報告を作成し、保護者へ配布していました。

．当時の課題

会計報告は各学期ごとに作成し保護者へ配布していました。7月の成績処理の一番忙しい時期に業者への支払いや会計報告の作成などの業務を行っていました。当然教職員の時間外の業務が重なっていました。また学年ごとに個別に業者へ支払いを行っていたため、集金のために何度も業者さんに学校に来てもらう必要がありました。

近年の働き方改革の流れの中で、教職員の負担軽減が求めらてていました。

私は学校事務職員をはじめて本年で30年目ですが、学年会計に携わったことはありません。また、商業や簿記などの勉強もしたことは無いので、会計に詳しいことはありません。普通の一般人です。それが今年になって初めて「学校徴収金～学年会計」を扱うことになりました。

・目標

学年会計を事務室で学校事務職員が一元的におこなうことにより、教職員の負担軽減を行う。特に学期末に成績処理に専念できる条件整備を事務室が担う。会計事故を起こすこと無く適正に学年の会計を執行する。

**【協働・取組】**

入学式に新入生から集金したお金をゆうちょ銀行へ入金することから始まりました。

ゆうちょ銀行の入金票と払戻請求書は1枚1枚手書きでした。記入に時間がかかるので、用紙をゆうちょ銀行の窓口で200枚ほどもらい、輪転機で印字しました。

クリアフォルダに各学年の表示を付け、納品書と請求書を綴り各学年の担当者へ配布しました。

6月の職員会議（職員集会）で各学年の学期末の購入予定や集金予定を6月23日までに事務室へ中間報告してもらえるように広報しました。報告が少なかったのであらためて6月29日を期限として広報誌その日を過ぎた学年は昨年までと同様に教職員本人が会計を行ってもらうことになりました。

7月に入っても集金を計画していた学年があったため、支払いが遅れる学年もありました。初めてだったので広報が遅れました。2学期からは集金のためのガイドラインを作成する必要があると感じ、作成しました。

〇学年会計のガイドライン（おねがい）

1. 集金は可能な限り千円単位
2. 集金・発注・納品は学期末の1ヶ月前まで
3. 学期末前月の15日までに中間集計

→今後の発注予定や集金の計画を事務室へ

**【成果と課題】**

・成果について

　教職員の負担軽減。従来は、年度末の成績処理を行っている時に会計の事務負担がありました。それを事務室が一元化して会計行うことにより、教職員の負担軽減につながりました。

・課題について

指導計画や過去の購入実績を踏まえ、一年を通して必要な教材の一覧を作り、予算化をして集金を計画的に行うことが必要です。そのため、過去の会計の記録を参考にしたいところですが、近年の物価上昇への配慮の必要性も感じました。

・校長より

**【教訓】**

　計画的な会計を行うために、早めに動くことが大切です。今回は初めての取扱だったので、6月上旬から支払いのために教職員へ広報したのですが、実際の集金を7月に計画したり、10円単位での集金をした学年もありました。どうにか7月上旬で支払いを終え、会計報告の作成を行うことができましたが、理想は年度当初に会計のためのガイドラインを示して、5月頃から動くべきだったと実感しています。そこを改善していけばよりよい学年会計を行えると実感しました。

　こうすれば良かったと思うことを課題と呼びそれを解決していく事が事務改善です。思いついたアイディアをすぐに実行していくことができるのが一人職である学校事務職員の強みです。必要な時期に必要な広報を教職員へ向けて行っていく事が大切であると実感しました。

　本校では毎週月曜日の16時から職員集会があります。Googleのドキュメントの電子データを職員全員が共有して会議を行っています。事務室からはそこを活用し、給与・旅費・福利厚生・服務・予算などの教職員へ向けた広報しています。

　私は学校事務職員として学年会計へ取組を始めたばかりですが、2学期は1学期の遅さを実感したことを改善点として計画をたてていきます。

　12月上旬に会計報告を出すために11月下旬をめどに支払いをおこなう。そのためには11月上旬に発注を終え11月20日頃までには集金を終えていなければならない。そのためには10月には広報をしていかなければならない。そのためには8月の始業式あたりに保護者へ向けて集金を8月末と9月末と10月末などに計画的に集金を行っていく広報をしてもらう必要があります。そのためには・・・7月の今から教職員へ広報して2学期はじめの学年便りに反映させてもらうための、教職員へ向けた広報を夏休み前の7月に行う必要があると感じました。

このように12月上旬に会計報告を作るゴールから逆算し、計画をたてていく必要を感じました。